

高品質・長寿命・低価格の3つをかなえた最新パネル。限られた予算で効率良く経済メリットを高めたい方向け。

一目でわかる。太陽光パネルの経済メリット

SIソーラー製 N型両面ガラスパネル 430W 8.6kW

出力保証期間

35年

40年

支出

収入を得るための
コスト



建物面積17坪・片流れの屋根にソーラーパネルを20枚設置した場合を想定(全て税込)

製品費用・設置費用

196万円※1

メンテナンス
費用※2
40万円

支出合計 236万円

経済メリット
(差額) 347万円※3

保証終了後も
発電が
続いた場合
+76
万円

およそ13年分の収入に相当 ▲

収入

売電収入と、
発電でまかなった
電気の節約額



1～10年目(FIT期間)※4

200万円

(節約60万円+売電140万円)

11～35年目(FIT終了後)※5

383万円

(節約179万円+売電204万円)

収入合計(節約金額+売電金額) 583万円

保証終了後も
発電が
続いた場合
+76
万円

- ※1 太陽光発電システムを8.6kW(430Wパネルを20枚)を屋根に設置した場合を想定しています。製品費用と工事費用は1kWあたり22.8万円としています。住宅ローンで支払う場合は、別途金利手数料が発生します。屋根材の種類、設置環境、施工会社等の条件によって異なります。
- ※2 メンテナンス費用として、35年間のうちに20万円相当のメンテナンスを2回おこなった場合を想定しています。
- ※3 収入金額から支出金額を差し引いて、経済メリットを算出しています。
- ※4 2024年度のFIT価格(16円/kWh)をもとに売電金額を計算しています。節約金額は、一般的な家庭を想定した電力消費のうち3割程度にあたる1800kWhを買わずに節約できた金額を想定して算出しています。電気代は約34円/kWhとし、毎年0.34円程度上昇した場合を想定しています。
- ※5 FIT期間終了後の売電単価を10円/kWhと想定して算出しています。電気代は※4と同じ想定です。

世界でも類のない、高い技術で製造されたバックコンタクトパネルを採用。経済メリットを最大化したい方向け

一目でわかる。太陽光パネルの経済メリット

マキシオン製 バックコンタクトパネル400W 8.4kW

支出

収入を得るための
コスト



建物面積17坪・片流れの屋根にソーラーパネルを21枚設置した場合を想定(全て税込)

出力保証期間

40年

製品費用・設置費用

260万円※1

メンテナンス
費用※2
40万円

支出合計 300万円

経済メリット
(差額)

369万円※3

およそ16.5年分の収入に相当 ▲

収入

売電収入と、
発電でまかなった
電気の節約額



1~10年目 (FIT期間)※4

200万円

(節約60万円+売電140万円)

11~40年目 (FIT終了後)※5

469万円

(節約221万円+売電248万円)

収入合計(節約金額+売電金額) 669万円

- ※1 太陽光発電システムを8.4kW(400Wパネルを21枚)を屋根に設置した場合を想定しています。製品費用と工事費用は1kWあたり30.9万円としています。住宅ローンで支払う場合は、別途金利手数料が発生します。屋根材の種類、設置環境、施工会社等の条件によって異なります。
- ※2 メンテナンス費用として、40年間のうちに20万円相当のメンテナンスを2回おこなった場合を想定しています。
- ※3 収入金額から支出金額を差し引いて、経済メリットを算出しています。
- ※4 2024年度のFIT価格(16円/kWh)をもとに売電金額を計算しています。節約金額は、一般的な家庭を想定した電力消費のうち3割程度にあたる1800kWhを買わずに節約できた金額を想定して算出しています。電気代は約34円/kWhとし、毎年0.34円程度上昇した場合を想定しています。
- ※5 FIT期間終了後の売電単価を10円/kWhと想定して算出しています。電気代は※4と同じ想定です。